

最上

つや姫 雪若丸
TSUYAHIME YUKIWAKAMARU

だより

第1号 令和3年5月7日発行
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1333 (稲作担当)

各品種の特性を発揮させるため 「栽培マニュアル」を遵守した栽培を！

両品種共通

- ◎植込み本数は100本/m²（坪あたり70株植え、株当たり4～5本植え）程度としましょう。
- ◎天候不良時の移植は避け、適期内移植を徹底しましょう。
移植晩限：5月20日(つや姫)、5月25日(雪若丸)
- ◎移植後の水管理は、活着までは水深を4～5cm程度にして稲体を保護し、活着後は浅水（2～3cm程度）としましょう。**メリハリが大切！**

「つや姫」は晩生品種！初期生育確保が良食味への道！

- ◎特別栽培であるため、初期生育の確保には、健苗育成が欠かせません。育苗後半も温度管理に注意しながら、良質な苗に仕上げましょう。また、もう一度生産計画を確認し、適切な肥料・農薬を使用しましょう。
- ◎初期生育が不足すると肥効が後半に持ち越され、玄米タンパク含有率が高まる傾向があります。移植後に生育が不足する場合は、こまめな水管理で生育を促しましょう。

「雪若丸」は偏穂数型品種！茎数の確保が最重要！

- ◎「はえぬき」より苗丈が短くなる傾向があります。無理に伸ばそうとせず、丈夫な苗をつくりましょう。
- ◎移植後の分けつを促進するため、育苗期間は高温管理を避け、苗の消耗・老化を防ぎましょう。
- ◎GAPに取り組んでいる登録生産組織の生産者は、チェックシートの確認と記入も忘れずに行いましょう。

STOP 農作業事故！機械の点検・トラブル対応はエンジンを止めてから！
「山形県農作業事故防止啓発運動～春季運動強化期間(4月10日～6月10日)」